

【ご案内】第 69 回 化粧文化研究者ネットワーク研究会 3/17

顔学会の皆さま

春は名をみの風の寒さよ、を実感する今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。
さて、「化粧文化研究者ネットワーク第 69 回研究会」開催のご案内を申し上げます。
2025 年に入って最初の定例研究会は関西地区での開催となります。
今回はハイブリッドでの実施となりますが、ご都合のつく方とは現地でお会いし交流を深められればなお
幸甚に存じます。
皆さまのご参加をお待ちしております。

2025 年 3 月 吉日
代表 北山 晴一

◆開催概要

第 69 回 化粧文化研究者ネットワーク研究会

【日時】：2025 年 3 月 17 日（月） 14:00 – 16:45

【会場】：関西大学梅田キャンパス 701 会議室

〒530-0014 大阪府大阪市北区鶴野町 1 – 5

アクセス：<https://kandai-merise.jp/access/>

【形式】：対面とオンラインのハイブリッド

※前日までに Zoom ミーティング ID、パスコードをメール送付

◆講演者：平芳裕子氏（神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授）

◆講演タイトル：

ご著書『まなざしの装置 ―ファッションと近代アメリカー』（青土社、2018/9/19）を中心に
お話を伺う。

◆講演概要：多様なメディアの分析を通してファッションと「女性的なもの」の結びつきを明らかにし、
北米大陸において「まなざしの装置」がどのように出来上がり、機能してきたか、言い換えれば、
私たちがいまなお捉えて離さない、「理想的女性像」なるものがいかに生み出され定着することになっ
たのか、などについてお話ししていただく。

◆おもなご著書：

『日本ファッションの一五〇年：明治から現代まで』（単著、吉川弘文館 2024 年 11 月）、
『東大ファッション論集中講義』（単著、ちくまプリマー新書 2024 年 9 月）、

『ファッションヒストリー 1850-2020 』（担当:分担執筆, 範囲:アメリカのメディアと既製服, アメリカのファッションデザイン運動, アメリカン・フィフティーズ, 2024年6月）、

『ジェンダー事典』（分担執筆、担当範囲:ファッション、服飾。丸善出版 2024年1月）、

『現代の皮膚感覚をさぐる—言葉、表象、身体』（共著、担当範囲:「シームレスの美学—ファッションと皮膚感覚」、春風社、2023年3月）

◆スケジュール

13:30 – 受付開始

14:00 – 14:05 代表からのご挨拶

14:05 – 15:10 講演

15:10 – 15:20 休憩

15:20 – 16:30 討議

16:30 – 16:45 諸連絡

◆お申し込み先

研究会・懇親会へのお申し込みは、以下 HP のお申し込みフォームからご連絡ください。

<http://keshobunka.com/apply/>

◆お申し込み締切：2025年3月12日(水)

◆研究会参加費：1,000円

◆研究会参加費お支払い要領 以下いずれかを申込時に選択

① 現地支払い

② 銀行振込

みずほ銀行 池袋西口支店 普通口座) 口座番号：1440560

名義人：化粧文化研究者ネットワーク

③ Peatix

<https://bcbr69.peatix.com/view> (推奨ブラウザ Google Chrome)

◆懇親会参加費：6,500円(予定)*当日受付にて現金のみでお願いいたします。

17:30 – 会場近隣の飲食店にて。こちら是非ご参加ください。(先着13名様)

※懇親会は事前お申し込みが必要です(当日のお申し込みやキャンセルはお受けできませんのでご容赦ください)。

また、定員に達した時点で、締め切りとさせていただきます。ご了承のほどお願いいたします。

◇研究会 50 回記念講演会冊子：

御希望の方には、当日のみ受付にておわけします（非売品、実費 1 部 500 円）。

■ お問い合わせ先

お問い合わせフォームから：<http://keshobunka.com/inquiry/>

■ 研究会以外のお問い合わせ先

化粧品文化研究者ネットワーク事務局担当世話人へ直接：

高野ルリ子（株式会社 資生堂）

メールアドレス：ruriko.takano@shiseido.com